

チームメディカル (TM) 最新の状況 2019/11/8

第8回TMミーティング 「現役で、医学部医学科に合格するために」 11月8日(金) 開催

11月8日(金)のTMミーティングでは、ベネッセお茶の水ゼミナールの講師から次の2つのテーマについて1学年、2学年別の講演がありました。

- ① 大学入試の今と医学部医学科入試の今
- ② 現役で、医学部医学科に合格するために

2年生向けの講演では、まず入試情報として、医学部医学科の入試パターンを念頭に、個々の大学の調査をする際、その大学での研究内容(専門性・特色)を押さえる必要があり、各大学のポリシーを把握することが大切である、との話がありました。そして、全体の入試結果の概況から、社会背景に影響され流動的になる他学部の入試に対して、医学部医学科は社会的状況に影響されない。志願者が減っても受験者数には影響がない医学部入試に向けては、模試の順位、成績にとらわれることなく、やるべきことを

やるという姿勢を最後まで貫いてほしい。そして情報として、私立医学部医学科は、10校以上を出願する既卒生との競争になり、科目数が減るほど高倍率になること、新テストでは英語リスニング(一知識ではなく技能である)の配点が100点であることに注意の必要がある、との話がありました。最後にスタディー・サポートについて、国数英の教科のバランスが良く、3教科総合学習到達ゾーン



ゾーンS2をキープすることが大切であるとの助言を受けました。後半は、現役合格に向けた学習面を中心とした講演があり、3年生でのいいスタートを切るには、2年生の残り4か月の過ごし方にかかっている。

英語、数学は3年生で劇的に伸びることはない！2年生のうちに穴を埋めておく、今日寝る前から始めてほしい。医学部は一浪で受かる生徒が50%以上と考えてよい。現役と浪人では圧倒的な差があり、現役生にとっては浪人生の半年分を前倒しできるかどうか、にかかっている。スタディー・サポートにおいては、国公立に届くラインがA1、医学部医学科はS2、センター試験は平均点が下がっても、上位層は下がらないことを考えると、今年のセンターチャレンジで、国語130、数学160、英語170理科100を目標にしてほしい。との助言を受けました。教科別アドバイスは、別紙を参照。



と助言を受けました。教科別アドバイスは、別紙を参照。

1年生向けの講演では、進研模試で1年生→2年生でSゾーンが半減してしまう、A1では「まずい」という危機感を持つように、センターチャレンジの目標点は英語140、数学I A80との助言がありました。数学で80点を取るために、具体的に以下のようなアドバイスを受けました。

- ・青チャートを何度か練習して解けるようにする
- ・早く解けるようにする→簡単な問題を速く解けるようになるにはたくさん練習が必要
- ・青チャートのエクササイズにも、たまには着手する
- ・融合問題を解くことで復習とする→ちょっと難しい問題にトライすることも必要
- ・計算問題を傍用問題集で十分に解く→私大医学部に役立つ

そして、入試情報の中では、入試科目が少なくなるほど入試倍率が高くなり、1年生の時から5・7で頑張り続けられる生徒が国公立大学医学部を狙えることになる。今のうちに英語数学国語をきちんと学習しておくことが必要とアドバイスを受けました。

1年生・2年生共通の話として、最後に悩まされるのが国語かもしれない、医学部志望だからだと言って国語を侮らない。国語の目標点89.5%で、90パーセント弱が平均ラインと考えられるが、最低ラインの共通テスト国語160点は、理系にとって高いだろう。140点くらいまでは、ある程度の言語能力で対応可能だが、普段の授業にまじめに取り組み、現古両方ともバランスよく取れるようにしておく必要がある、と助言がありました。

講演を通して、1、2年生のうちに英数国バランスよくS(できればS2)ゾーンをキープし、普段の授業を大切に、5・7受験を崩さず、3年生のスタートを切れるようにすることが医学部医学科に現役で合格することにつながるということが明確になったと思います。